

～ほっかいどうの防災教育の集い 第20号(令和7年12月25日発行)～

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/234960.html>

■ 日ごろからの備え

地震や津波など災害はいつ起こるかわかりませせん。日ごろからの備えを心がけましょう。
自らの命、大切な人の命を守るために、準備しておくことが重要です。

【ポイント】

- 家具の固定
- 非常用持ち出し袋の準備
- 水や食料の備蓄
- 避難場所や避難経路の確認 など

詳細については、道の HP において掲載していますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/223918.html>

■ 令和7年度防災気象講演会「3.11 東日本大震災から15年～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～」開催

令和8年2月10日に、令和7年度防災気象講演会（併催：みやぎ防災フォーラム）を札幌管区気象台・
仙台管区気象台・宮城県の共催で開催します。

○日時 令和8年2月10日（火） 13:00～15:50

○会場 【札幌会場】 北海道大学 学術交流会館 小講堂

【仙台会場】 仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール（AER5階）

【オンライン会場】 zoom ウェビナー

○申込方法 以下の特設ページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>

3.11 令和7年度防災気象講演会、みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

令和8年
2月10日 [火]
13時00分～15時50分（開場12時00分）

入場無料 ※事前申込必要

会場
北海道大学 学術交流会館 小講堂
〒060-0808 札幌市北区北5条西5丁目8-1

オンライン会場 Zoomウェビナー
仙台市中小企業活性化センター多目的ホール
〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

定員 各会場先着120名、オンライン先着1000名

お問い合わせ先 講演会事務局 info_lectureR7d@met.kishou.go.jp

講演会参加の申し込みは
こちらのページから
申込期限 2月8日

演題
第一部（これまでの歩み）
1. 震災当時の経験と教訓
2. 東日本大震災から15年～発生メカニズムと被害実態を振り返る
3. 東日本大震災以降の地震・津波に関する情報の改善
第二部（これからの備えと避難対策）
4. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えと北海道・三陸沖
5. 寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

3.11 令和7年度防災気象講演会、みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

次 第
第一部（これまでの歩み）
1. 震災当時の経験と教訓
2. 東日本大震災から15年～発生メカニズムと被害実態を振り返る
3. 東日本大震災以降の地震・津波に関する情報の改善
第二部（これからの備えと避難対策）
4. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えと北海道・三陸沖後発地震注意情報
5. 寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

申込方法
参加には事前申込が必要です。
先着順で受付し、定員に達し次第締め切ります。
定員 各会場：120名、オンライン：1000名
申込期限 2月8日

会場 ※札幌・仙台の2会場
札幌会場 北海道大学 学術交流会館 小講堂
〒060-0808 札幌市北区北5条西5丁目8-1
仙台会場 仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール
〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

個人情報の取り扱いについて
ご入力頂いた個人情報は、本講演会に関する事務にのみ利用いたします。

問い合わせ先 講演会事務局 info_lectureR7d@met.kishou.go.jp

■ 冬山登山及びバックカントリーにおける山岳遭難事故に注意

近年、スキー場の整備されたコースではなく、自然の中をスキーやスノーボードで滑走するバックカントリーを楽しむ人が増えてきている中、コース外に出て遭難してしまったり 慣れない新雪の上での滑走でケガをしてしまったりとトラブルも増えています。

ウィンタースポーツを安全に楽しむために以下のことに注意しましょう。

1. 登山届を提出しましょう。
2. 気象状況を確認しましょう。
3. 入山前に地形やルートを確認しましょう。
4. 十分な防寒装備、食料などを準備しましょう。
5. GPS、ビーコン、スコップ、プローブなどを準備し使用方法を確認するな万が一に備えましょう。
6. 登山は複数人で登りましょう。
7. 冬山の厳しい寒気により体力が消耗することから、万全な体調で挑みましょう。

バックカントリー スキーヤーの皆様へ



登山届等はコチラ



道警 YAMAP コンパス

! スキー場管理区域外等のバックカントリーは、管理されたゲレンデとは全く異なり、過酷な自然環境の冬山です。

! 天候の急変、雪崩や雪底、道迷い、立木への衝突など、予測困難な危険が潜んでおり、安全に楽しむためには、十分な知識や技量、装備が必要です。

———事前に必ずチェックしてください！———

天候・地形等の確認

- ☐ 最新の天気予報や雪崩情報を確認していますか？
- ☐ 自分の技術、体力に見合ったルートですか？

冬山装備の確認

- ☐ ビーコン、プローブ、スコップを持っていますか？
- ☐ 自分の居場所を確認できるGPSを持っていますか？
- ☐ 携帯電話とモバイルバッテリーを持っていますか？

安全管理の確認

- ☐ 行き先を家族や知人に伝えていますか？
- ☐ 必ず**登山届**を提出しましょう。
- ☐ グループで行動しましょう。
- ☐ 経験が浅い方はガイドを利用しましょう。
- ☐ スキー場のルールを守りましょう。
- ☐ 救助要請した場合、多額の捜索費用が請求されることがあるほか、悪天候で救助ができない場合があります。

北海道・北海道山岳遭難防止対策協議会